



皆様お変わりありませんでしょうか
今年の春先のお天気といい、5月、6月になっての不安定な気候、かつ日本中に地震が多く発生し、一体日本は、どうなるのかと心配に思うような日々でした。その中で5月には通常総会を開催し、皆様のご協力を得て無事終了しました。
総会を開催する立場ではありますが、実は「総会はずまらない、総会がマンネリ化している」との声を聞いていました。それでもいつも参加して下さる会員がいて下さり「なんと有難い」と毎年思いながら総会を迎えていました。ところが、今年の総会は何故か決算報告の時間も全てが、温かい雰囲気の中で総会でした。
その後の「和気あいあいマジック会」の人たちの練習成果もよくて、みんなが笑ったり驚いたり楽しい時間でした。
交流会では、車座になって全員が発言し、ただの名前だけの紹介でなく、今の心境、状況等、ざっくばらんに話が出来る、とても有意義な総会でした。



今後も有意義な助っ人でありたい！



3月21日に開催された世界大会WBCの決勝戦では、日本選手の団結力の素晴らしさと個々の能力に感動し、未ださめやまぬ幸せ感が漂っています。
5月には広島でのサミットG7で各国首脳が、広島島の原爆資料館などを観て、花環をたむけてくれたことで意義あることだと思っています。
日本も含んで世界中の経済問題も環境問題も混沌として、面白い話題が少ないなかです。松戸くらしの助っ人から面白い話題を提供したいと思います。

助っ人のオープンスペース「悠々」は、もう10年ぐら前から活動しています。始めの頃は、ほんの少人数の参加者でしたが、今ではオープンスペース「悠々」が多い時で十人を越える時があります。改めて「人と人のつながり・地域のつながり」の重要性が現れているように思います。
過去27年間、生活支援とオープンスペース「悠々」活動を共にしてきましたが、この「人と人のつながり・地域のつながり」が、いかに大事であるかを再認識させていただいています。そのオープンスペース「悠々」で六〇代から八〇代の人達と、時には先生になったり生徒になったり勉強したり、体操したり、趣味を活かしながらおしゃべりに花を咲かせ、若さを取り戻したかのようにコロナと笑いながら楽しんでいきます。そんないろんな展開に事務所スタッフも驚かされています。
誰でもがオープンスペース「悠々」に参加出来る、楽しく過ごしていただける機会を、助っ人が提供させてもらっていることは望外の喜びです。まさに「お仕着せでなく、お金儲けでなく、お互い様の気持ち」の理念に間違い無しの思いで、今後も前向きに進めていきますので、興味のある方は是非一度見学にいらして下さい。
各オープンスペース「悠々」の講座は約2時間ほどで300円で参加できます。
「家にいたらテレビを見ながらお菓子をつまんでいるけれど、こうして色々な方と楽しく出来るのが嬉しい」と言って下さる参加者がいます。皆様のお役に立てるように頑張っています。
これからもご支援ご協力よろしくお願ひします。

第 20 回 通常総会が無事に開催しました

第20回通常総会は令和5年5月20日(土) 13時に新松戸市民センター3階第2会議室で定刻に、小林氏の司会で開始されました。松下代表から、助っ人の利用状況は変化しているが「お互いさま」の理念を大切にしつつ地域に役立つように活動していきたい旨の挨拶がありました。続いて事務局から、総会の定足数を満たしていることが報告され(総会成立条件は、正会員総一三五名の過半数六八名のところ、会場出席者二〇名及び委任状による出席者数六七名の合計八七名でクリア)議長として梅田氏が選出されました(今回の委任状六七名のうち六〇名の議決権が議長に委任されていました)。議事録署名人として、小橋氏及び武田氏が選出されました。議長の議事進行で第1号議案「令和4年度活動報告」について事務局から説明がなされ、その後の質疑応答で、活動時間の減少理由が問われました。介護保険制度の充実や子育て支援策の充実、さらに、これまでご利用いただいた正会員がお亡くなりになったり、施設に入ったりして、そもそも助っ人のサービスを必要としなくなった分析結果が発表され、高齢者が確実に増加している中、助っ人の存在を認知していただく努力が更に必要であるとの説明があり、本議案は可決されました。次に、第2号議案「令和4年度会計決算報告」が事務局から説明され、多根監事からは会計監査報告がなされました。質疑応答では、活動時間が減少しているのになぜ収入が減っていないのかとの問いに対し、介助移動の点数が変わったこと等によるとの回答でこの議案も可決されました。続いて、第3号議案「令和5年度活動計画」が松下代表から説明され、例年と異なる点として「新松戸3丁目町会との連携」が追加されたとの説明がありました。会場の高瀬氏からは、イオンのイエロー・レシート・プロジェクトは単に「収入源」ということだけではなく、子供にボランティア精神や助け合う心を植えつけ、人間としての成長を促すものであるとお話をいただきました。この議案も可決され、第4号議案「令和5年度会計予算」も異議なく可決。第5号議案「令和5年度役員選任」で、事務局から、昨年度、2年間の任期で選任された役員のうち、死亡1名及び辞任2名があり、その代わりとして、石川氏、荻込氏及び山本氏の三名を残余期間を任期として推薦した旨の説明があり、異議なく可決されました。今回の委任状の中に、矢野理事の死を悼む添え書きがあったことを報告させていただきました。以上、すべての議案の審議を終え、進行を司会の小林氏に返し、最後に代表からの挨拶で午後二時前に総会を閉会しました。

(記 荻込)

ときめき絵手紙に参加しませんか？

絵手紙は絵のある手紙です。書いているときは、大切な人と繋がっている大切な時間。相手のことを思い、一生懸命言葉を考えるのですから、ひとしごとです。

絵が下手だから、字が得意でないからと思われる方も多いでしょう。でも、ひとりひとりの言葉には、生まれて今日まで積み重ねてきたそのひとらしきがあります。

「へたは、下手でない人と比べられない個性」と小池邦夫先生(日本絵手紙協会名誉会長)は、



参加者の声

初めての絵手紙体験は、「下手がいい、下手でいい」の表記に引っ張られて何の不安もありませんでした。

筆の上端を摘んでゆっくりゆっくり線を引く。季節の花や野菜果物を線で描いたら、顔彩と言う絵の具を塗るのじゃなくチョンチョン軽く叩くように乗せる。空白部分に一言添える。これ考えるのも楽しい。

先生が上手に褒めてくださり、生徒たちの作品を並べてそれぞれの良さを学んで終わります。

楽しいひとときを作ってください、ありがとうございます。(記 竹村美知子)

おっしゃっています。身近なものに目を向け、自然の変化に心動かし、大切に育てた野菜や花、自らをありのままに書けば、思わず言葉がこぼれてきます。「絵手紙を通して感じる心、ときめきを応援したい」と思います。

(記 森美恵子)



悠々講座「ときめき絵手紙」は、

毎月第3水曜日

13:30~15:30

参加費 300円

にて、開催しています。

参加希望者は、助っ人事務局まで、連絡下さい。

047-340-3314

(平日 10時から16時まで)

松戸市グリーンスローモビリティ 「グリスロ」の視察

去る4月28日(金)に、松戸市河原塚地域で昨年11月に新規導入されたグリーンスローモビリティ(以下「グリスロ」)の試乗をしてきました。グリスロとは、公共交通機関とは違い、地域住民の自分らしい暮らしを支えるために、買い物、グループ活動、イベント等さまざまな地域活動で無料で利用する目的で導入された移動サービスやその車両(電動車)のことで、公道を20km/h未満で運行します。

産学官共同プロジェクト。運転手は普通免許を有する地域ボランティア20人。乗務員は運転手と補助者。補助者がドアの開閉を担当するので安心です。利用申込みはスマホや電話で行います。

GPS位置情報発信により、今、グリスロがどこを走行中かスマホで観られるようになっており、市役所もその運行状況を把握しています。この施策で老人の行動範囲が導入前の1.5倍に拡大したそうです。

将来、高齢化が進む新松戸地域でも導入の可能性を考える価値がありそうです。
(記 荻込)



『あむあむ』 に参加しませんか？

二〇二〇年に長野から引っ越し、松戸市民になりました。
どこかで、「誰かのお役に立ちたい」と淡い思いを持っていました。でも、何の実績もない私になにができるのだろうか？
思いばかりで行動に移せない私がいました。そんな時に、松戸くらしの助っ人に出合い、現在は木曜日の担当の事務局員です。
助っ人の中では、なんと最年長です。事務局スタッフの皆様には、時々迷惑ばかりかけて、心苦しいのですが、皆さんはとても優しく、ご指導いただいております。



今年の1月より、『あむあむ』と言う名称で、「編み物をしながら、おしゃべりもしながらの同好会クラブ」を、助っ人のいえを月二回(第1・4月曜日)開催しています。
「編み方知らない、目が悪くて編めない」そんな事は全然関係ありません。
「参加者でおしゃべりしながら、一本の針と一本の糸だけで、何か形になれば良いじゃないですか？」まずは、ご自分の好きな物を編んでみてはいかがですか？
参加して下さった皆さんで、自分の居場所をつくりましょう。お待ちしております。



(記 笠井)

そば・うどん
けやき庵

営業時間 11:00~15:00 17:00~20:30

定休日 松戸市新松戸6-1
毎週火曜日 新松戸支所前

電話 047(344)5045

出前も
承ります



ていねいな編集と本作り

自分史・句歌集・エッセイ・小説

自費出版は

東京創作出版

(編集者 永島静香)

松戸市二十世紀が丘山町 53-1 ☎ 047-391-3685
ホームページ www.sosaku.info

♡ 新松戸中央公園フリーマーケットに出店しました ♡



去る四月二三日（日）に新松戸中央公園でフリーマーケットが四年ぶりに開催されました。

助っ人でも二日前に出品準備のため、値付けや荷造り作業をして晴天の当日を迎えました。

皆様に寄付していただいた品々を、衣類・雑貨・食器と三種類に分けて並べ、少しでも売り上げを・・・の思いで皆さんハッスルしてくださいました。

お客さんの中には、値切るのが上手な人や一つの品物を十分以上迷う人など、販売する事のむずかしさを学びながら、そのような方々との会話も楽しみました。

秋のフリーマーケットが十月一五日（予定）に計画されています。

その際には、当日だけでなく準備段階のお手伝いも申し出ていただければ助かります。

これからも元気にフリーマーケットや趣味などを楽しみましょう。

（記 中山・山本）

♡ 賛助会員・ご寄付のお礼 ♡

いつも「松戸くらしの助っ人」を応援して頂いてありがとうございます。
2023年1月から3月までに、ご寄付と賛助会費を頂いた方々をご紹介します
お礼を申し上げたいと思います。

（お名前は、敬称略、あいうえお順です）

◎ 賛助個人会員

金澤孝夫 斉藤美子 平野静枝

◎ ご寄付いただいた方

桑原博子 田村淳 中川和子
本宮雅之 宮野誠二
廣瀬 享哲（野菜提供）
ガレージセール売上げ



助っ人の支援を充実させるために、当法人の理念をご理解いただき、あなたの援助が必要です。
ご支援をよろしくお願いいたします。

●寄付金：一口 3,000 円（一口以上お願いします。）

郵便振替口座（通常払込み）もしくは、ゆうちょ口座への送金をお願いします。

通常払込みは、窓口・ATMでは、「料金払込人負担帳票」なので、手数料がかかります。

「ゆうちょダイレクト、ゆうちょ通帳アプリ扱い」を利用すれば、月5回まで無料です。

●郵便振替口座：00130-1-592500 NPO法人松戸くらしの助っ人

●ゆうちょ銀行：10510-6983354 もしくは
ゆうちょ銀行〇五八店 6983354 のどちらかの
口座に送金して下さい。

中国料理

あん 里
桜

営業時間 AM11:30～PM2:30/PM5:00～PM9:00 定休日/木曜日
（平日）AM11:30～PM2:30/PM5:30～PM9:00
松戸市新松戸4-206 チェリーヴィレッジ1F
TEL 047-344-3187

助っ人の休暇スケジュール

◆お盆休み 8月11日（金）～16日（水）

◆研修バス旅行

（詳細は、次号にてお知らせ致します。）

◆年末年始 12月23日（土）～1月8日（月）

介護用品の店 アルファ

販売・レンタル・住宅改修

有限会社 アルファメディカル 電話 047-374-5621
松戸市西馬橋蔵元町 174-1

HAIRギャラリー トライゲン

TEL&FAX 047-340-0008

ご予約の方 優先させていただきます

営業時間/AM9:00～PM18:00

定休日/火曜日・第2,3水曜日

<http://trygen.exblog.jp/>

有限会社トライゲン

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸2-391-2 1F

